

重点11 教職員研修の充実

1C 教職員の資質向上（教育センター研修）

ねらい

今日的な教育課題や教職員の多様なニーズに応える研修を実施するとともに、本市の教育課題の解決に向けた研修講座，職種や教職経験年数（ライフステージ）・職務内容に対応した研修講座を充実し，教職員の資質・能力の向上をめざしています。

現状と課題

○ 教職員研修の現状（講座数・日数，参加者数）

平成22年度は，教職経験年数に応じたライフステージ別研修を中心に据え，受講対象を絞った研修会を多く実施しました。また，学校の教育力を高めるための「若手教員研修」と「ミドルリーダー教員研修」を実施しました。

ICT研修では，市内全小・中学校62校において出前講座形式の研修会を実施しました。本年度は，操作研修に加え，ICT授業づくりに関する研修を行いました。

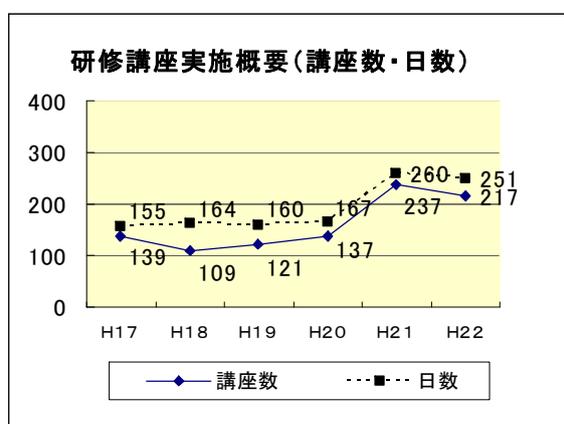


図-1 【講座数・日数】

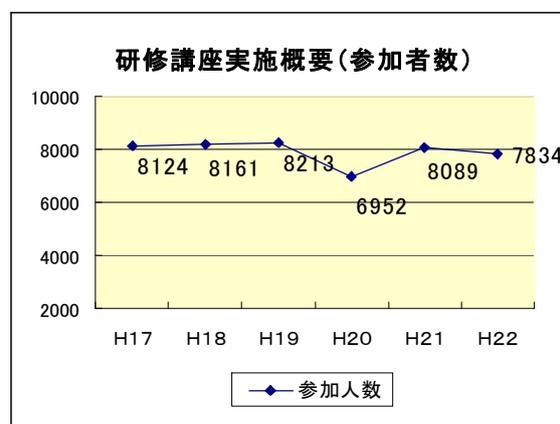


図-2 【参加者数】

○ 課題

増加する若手教員に対する研修を，より一層進める必要があります。その柱として，3年目を迎える「教師力向上サポートブック」を活用した取組を充実させる必要があります。また，ICT研修では，授業研究を主体とした研修が求められます。

今後の方向性

○ 若手教員およびミドルリーダー教員研修の充実

ライフステージに応じた教師力の向上を図るため，引き続き「教師力向上サポートブック」を活用して一人一人の教職員が個人研修を進めていけるように支援します。また，教職経験2年未満の若手教員に対する「若手教員研修」及び，「ミドルリーダー教員研修」をさらに充実させ，学校内におけるOJTを生かした教職員の資質向上を支援します。

## ○ 学校現場に「出かける研修（出前研修）」の充実

ICTを活用した授業づくりを進めるため、学校の授業研究に対する助言や支援を行います。また、初任者研修や若手教員研修対象者の授業を参観し、校内研修の進め方や内容等について相談やアドバイスをを行います。

### その他の主な取組状況

## ○ 「教師力向上サポートブック」を活用した研修の推進

「教職員向上サポートブック」を活用するための評価資料である「四日市市学校・園教職員 自己相互研鑽のために」を改訂しました（図1）。これによって、全職種の教職員が自己分析をもとに目標を設定し、自己研鑽を行います。



図1 四日市市学校・園教職員 自己相互研鑽のために

## ○ ライフステージ別教職員研修の充実

教職員研修講座では、個人年間研修計画に基づいた講座選択ができるように、教職経験年数（ライフステージ）に応じた講座の充実を図りました。

その結果、若手教員同士の交流研修（図2）や、ミドルリーダー教員研修（図3）など、ライフステージに応じた研修講座、自己の課題に見合った研修講座の受講が増えました。



図2 若手教員対象の研修会



図3 ミドルリーダー教員対象の研修会

## ○ ICT出前研修の実施

ICT研修では、前年度に引き続き、市内全小中学校対象に出前講座形式の研修（図4）を実施しました。平成22年度前期は、ICT機器活用研修を行いました。また、後期は、ICTを授業でどのように活用するかをテーマに、教材研究と模擬授業を中心としたワークショップ型の研修形態を取り、教職員のICT活用指導力の向上を図りました。



図4 ICT出前研修（後期）模擬授業の交流会